

ぬまたくわぎいく
沼田桑細工



■沿革・特徴

お椀等の起源は、文徳天皇の第一皇子惟喬親王が木の下に落ちた椎の実のへたからヒントを得たとされている。

沼田桑細工は、奥利根産の桑を材料とし、伝統のロクロ技術によって作り出されたもので、桑の木目の美しさ、上品さは多くの人に親しまれている。

■主な製品

茶筒(7,000円程度から)
椀(2,600円程度から)
湯呑み(2,200円程度から)

■製造者名

沼田こけし工芸
(一倉 忠)

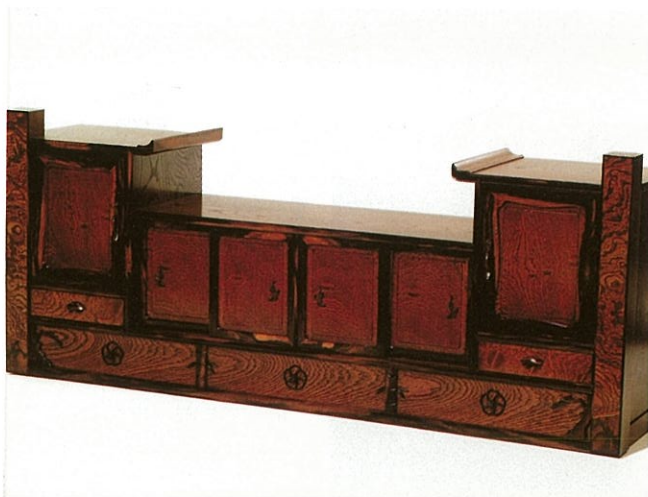
■住所

〒378-0016
沼田市清水町 4280

■問い合わせ先

TEL 0278-22-5030
FAX 0278-22-5030

ぬまたさしもの
沼田指物



■沿革・特徴

指物とは、ものさしから由来し、製品の精密さを表したものとされている。

約100年の長い間続いている「木工の街沼田」ならではの伝統工芸で樹齢200年から300年という樺を充分に寝かせ、独特の各種組込技術で寸分の狂いもなく組み上げ、拭き漆を何度も重ねて仕上げた作品はまさに工芸品といえる。

また、使うほどに味わいが深まり、何世代にもわたり使用できるものである。

■主な製品

長火鉢、仏壇、茶単筒、単筒、文机
(受注による)

■製造者名

吉澤指物店(吉澤 良一)、
指物家具・吉澤(吉澤 良和)

■住所

〒378-0001
沼田市戸神町 848(吉澤良一)
〒378-0035
沼田市井土上町 204(吉澤良和)

■問い合わせ先

TEL 0278-24-3415(吉澤良一)
TEL 0278-22-2678(吉澤良和)
FAX 0278-22-2678(吉澤良和)

ぬまたきりげた
沼田桐下駄



■沿革・特徴

沼田桐下駄の歴史は古く、木材の集積地として木工業が最盛期であった戦前や戦後の間もない頃は相当数の下駄職人がいたが、服装文化の変化に伴い年々その数は減少し、現在はほんの数名のみとなっている。

奥利根の厳しい自然条件のもとで育まれた優良材からより多くの製品を生み出す独特の技法を用い、美しく、軽く、温もりのある桐下駄を一定一定真心をこめ手造りで生み出している。

■主な製品

桐下駄 (1,500円～15,000円程度)

■製造者名

丸山 勝美

■住所

〒378-0018
沼田市鍛冶町 978

■問い合わせ先

TEL 0278-23-1728
FAX 0278-23-1728

ぬまた
沼田うきもく



■沿革・特徴

うきもく工芸品は昭和38年より製作が開始され、昭和40年には実用新案登録を受け、現在に至る。

長年の風雪に耐えて造られた年輪に磨きを入れた木目の美しさは、温和の風格を漂わせ、配色の融和感は古代杉を思わせる落ち着いた雰囲気をも、どのような環境にも調和する。

杉のもつ木目を一層引き立てるためには、木目の選択と焦がしの微妙な加減が重要なポイントとなっている。

■主な製品

花器 (1,200円程度から)
花台 (800円から)
座卓、茶卓、盆 (2,000円程度から)
短冊 (1,500円程度)

■製造者名

(株)うきもく
(杉田 大吉、杉田 照明)

■住所

〒378-0043
沼田市東倉内町 570

■問い合わせ先

TEL 0278-23-6452
FAX 0278-23-6452
URL <http://www.oze.or.jp/~yukemuri/bussan/a/a050301.htm>

いりやま

入山メンパ



■沿革・特徴

入山メンパは、江戸時代の文化文政時代頃から製作されていた。当時の入山地区は、農業以外にこれといった産業もなく、木工細工が人々の生活の糧であった。

メンパは、その形状が小判型であることから縁起ものとして扱われており、材料は赤松、サワラなどが使用され、釘は1本も使用していない。

メンパは弁当箱として使われてきたが木の吸湿性や芳香性等により、食物が良好に保たれる利点が見直されている。

■主な製品

メンパ (弁当箱)

(1,500円～4,000円 8種類)

ひしゃく (2,500円程度から)

■製造者名

山本 荒次郎、山本 幹雄

■住所

〒377-1701

吾妻郡中之条町大字入山乙 2641 (山本荒次郎)

〒377-1701

吾妻郡中之条町大字入山 2599 (山本幹雄)

■問い合わせ先

TEL 0279-95-5178 (山本荒次郎)

FAX 0279-95-5178 (山本荒次郎)

TEL 0279-95-5409 (山本幹雄)

FAX 0279-95-5409 (山本幹雄)

ぬまたごき

沼田碁器



■沿革・特徴

沼田では、昭和34年より全国の中でも数少ない碁石専門の製造が行われており、それが沼田の碁器である。

奥利根の厳しい風雪に耐えた桑、樺、桜、栗など厳選された優良材を熟練した職人の手作業により一つ一つ丹念に製作されたもので、自然の木目をそのまま活かし味わい深く、かつ硬質の口で手ざわりの良いツヤに仕上げられており、全国の囲碁愛好家に好評を得ている。

■主な製品

碁石(ごけ)(島桑、黒柿、桑、花梨、樺、桜、栗など)

■製造者名

丸山木工所
(丸山 道男、丸山 栄一)

■住所

〒378-0014

沼田市栄町甲 105

■問い合わせ先

TEL 0278-22-4279

FAX 0278-22-4279